



(c) 2017

by Yoshitaka Nishizawa

人間関係資本と信頼

健全な民主主義の必要条件？

- ・ Putnam, Robert D. 1993. Making Democracy Work: Civic Traditions in Modern Italy. Princeton: Princeton University Press. 『哲学する民主主義—伝統と改革の民主的構造』河田潤一訳 NTT出版 2001.
- ・ Putnam, Robert D. 2000. Bowling Alone: The Collapse and Revival of American Community. New York: Simon and Schuster.
- ・ 山岸俊男 1998, 『信頼の構造：こころと社会の進化のゲーム』東京大学出版会.

Bowling (or Nintendo) Alone

- ・ アメリカで政治参加が低下している
- ・ Putnam 2000 Bowling Alone
- ・ ボーリング人口の増加とリーグの減少
- ・ 増えている組織と減っている組織
 - シェラクラブ・退職者組合
 - 教会・ロータリークラブ
- ・ Check-book Organization

Making Democracy Work

- ・ 『哲学する民主主義』(1993)
- ・ 1970年初頭に導入された地方組織
- ・ 20年後の南北差—それはなぜか
 - それは「文化」の差
 - 水平的な人間関係に根ざした市民社会
 - それを「人間関係資本 (Social Capital) 」と呼ぶ

人間関係資本とは(1) Social Capitalの南北差

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ Physical capital <ul style="list-style-type: none"> – インフラストラクチャー ・ Human capital <ul style="list-style-type: none"> – 物理的な資本を活用できる能力 ・ Social capital <ul style="list-style-type: none"> – それを有機的に活用す | <ul style="list-style-type: none"> ・ 人間関係(文化)の南北差 <ul style="list-style-type: none"> – 南：縦型 – 北：水平型 ・ パットナムの仮説 <ul style="list-style-type: none"> – 長期的信頼関係 – 互恵の念 – 真の情報 – 協調の文化 |
|--|---|

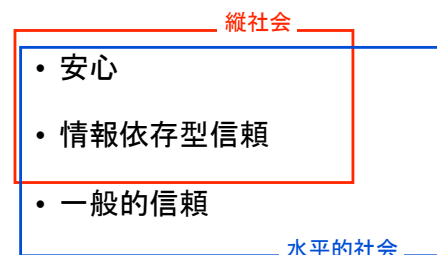
SCを育てるためには・・・

- ・ Face to face な人間関係が必要
 - Bowling aloneではだめ
 - Check-book organizationもだめ
 - テレビの弊害

3つの「信頼」

- ・ 安心
 - 相手が自分を搾取る意図を持っていないという評価に根ざしている
- ・ 情報依存型信頼
 - 人格的信頼と感情的信頼
- ・ 一般的信頼
 - 無条件の信頼
 - ・ 安心でもない (担保がない)
 - ・ 情報依存型でもない (その人についての情報がない)

3つの「信頼」と 2つの人間関係のタイプ



- ・ 信頼の還元アプローチと「解き放ち」論